



# 地域生活を目指して

## いぶきの支援

### 【いぶきの特別支援プログラム】

いぶきでは、多くの利用者に最重度の知的障がいと自閉症があり、いわゆる強度行動障がいの状態を示しています。そこで、小集団による生活や活動を基本とし、行動特性の理解や自閉スペクトラム症の特性に基づいた支援を行っています。具体的には、**TEACCH**の考え方を取り入れた個々の特性に合わせた**生活全般の構造化**や**個別課題プログラム（自立課題の設定）**、**PECSによるコミュニケーション支援**、**感覚統合**の実施などが挙げられます。これらの支援を通じて行動障がいの軽減を図り地域生活への移行を目指しています。

## つばさの支援

### 【つばさの特別支援プログラム】

つばさでは、触法行為等により、地域での生活が難しくなった知的障がい・発達障がいのある方を対象に支援を行っています。つばさの支援における特徴として、利用者の課題に応じた特別支援プログラムが挙げられます。具体的には、**認知行動療法を理論的背景としたSST（ソーシャルスキルズトレーニング）**・**ACT（アンダーコントロールトレーニング）**・**性学習プログラム**・**窃盗回避プログラム**という4つのプログラムを作成・実践しています。これらのプログラムを活用して、個々の利用者の課題へのアプローチによる行動変容と、プログラムから得られた情報をアセスメントし、地域生活を実現する支援に生かしたいと考えています。いずれのプログラムも、知的障がいのある方でも理解しやすいよう、ロールプレイを用いる、**VTR**を提示する、絵や写真で伝えるなどの工夫をしています。これらの支援を通じて各々の課題に対して対処する力を育み地域での生活を目指しています。